

学生の皆さんへ

年末年始は慎重な行動を

第8波の影響により、本学においても多数の感染者が出ています。愛媛県でも1日に3,000人を超える陽性者が確認される日もあり、12月15日には「医療ひっ迫警戒宣言」が出されました。

これから年末年始を迎えますが、第7波を上回る感染拡大とインフルエンザの同時流行の懸念もあり、年末年始にかけて感染が一層拡大すれば、医療全体がひっ迫する恐れがあります。

社会的には、With コロナで規制緩和が進んでいますが、本学の学生の皆さんは「医療従事者を目指す者」としての自覚をもって油断することなく、医療現場のひっ迫状況の回避も強く認識し、徹底した感染回避行動をとってください。

新しい年を迎えても授業・試験・実習・課外活動に、今以上の制約が生じることがないように、一人ひとりの「慎重な行動」をお願いします。

《感染回避行動》

- 暖房使用時も定期的な換気を。(暖かい服装)
- 普段と異なる症状がある場合、外出、登校等を控える。
- 会食ルール(長時間を避け、羽目を外さず、換気の徹底等)の厳守
- 不特定多数の人ごみに注意
- オミクロン株対応ワクチンの早期接種(詳細:添付チラシ)

《医療ひっ迫防止のための対応》

- 重症化リスクが低く症状が軽い場合は、適正受診を。
 - ・自己検査し、陽性になったら「陽性者登録センター」を活用
 - ・抗原検査キットや市販薬、3日分の水・食料等の事前準備
 - ・日曜日や年末年始は、早期診療が必要な方を優先するための協力を。症状が軽い場合は、できるだけ平日・日中に受診を。

令和4年12月20日
危機管理委員会